

シンフォニアテクノロジー 2023 年度上期決算説明会 質疑応答(要旨)  
(2023 年 11 月 30 日(木))

【回答者】

代表取締役社長 平野新一

Q クリーン搬送システム事業のセグメント利益率について、上期より下期が良くなるが、どういったことを計画しているのか？

また、24 年度下期からの回復水準はどのくらいと考えているか？

A 上期は、売上は減少したが開発投資等の規模は維持した。下期は生産自動化等により生産性が向上することから、改善を計画している。

1Q で底打ちし、今徐々に戻りつつある。同セグメントは、22 年上期当たりがピークで、その水準に戻るのは 25 年度以降と考えている。

Q 株主還元的时间軸を教えてください？

A 現在社内で検討中ではあり、投資等、キャッシュの配分を考えながら決定するので、現時点では回答を差し控えさせていただく。ただ、現状で十分とは思っておらず、配当性向 30%、自社株買い、中間配当実施を目指したい。

Q 重点投資の対象としているクリーン搬送システム事業で取り組むこととして、後工程搬送システム、プロセス装置駆動機構、搬送プラットフォームが上げられているが、それぞれどういったことに取り組むのか教えてください。

A 後工程は前工程ほど自動化が進んでいない。自動化を検討するにあたり、顧客と相談しながらシステム設計をしている。

プロセス装置駆動機構は、当社が得意とするアクチュエータを使用した製品を検討中。

搬送プラットフォームは、真空搬送や、搬送物の重量化が進むことによる天井搬送以外の搬送方法を検討している。

Q 例えば、パワエレの利益率が資本コストに見合っていない。事業売却等、整理しなければ株価は上がらない。資本コストに見合わない事業についてはどう考えている？

また、安定した利益を創出するとはいえ、低い利益率では投資家の立場から見て、必ずしも適切な判断であるとは言い難い。どのように考えているか？

A パワエレ、モーションの利益率は低いが、安定的な利益を創出するセグメントと位置付けている。伸ばすのはクリーン搬送システムで、と考えている。パワエレもだが、モーションは医療、物流などの新分野に展開し事業転換を進めることで、採算性改善を進めている。

以上